

徳島バッテリーバレイ構想推進会議（第2回） 議事要旨

日時：令和6年10月7日（月） 15：00～

場所：徳島グランヴィリオホテル

議事要旨：

「資料1 徳島県のクリーンエネルギー導入に向けた取組について

資料2 テクシード石井工場・カーボンニュートラルの取り組みについて

資料3 徳島バッテリーバレイ構想関連施策の進捗状況及び戦略推進の方向性について」

につき、徳島県脱炭素推進室、株式会社テクシード及び事務局より説明。

「アクションプラン骨子案」等について、メンバーからの発言要旨は以下のとおり。

○競争力の強化

- ・発電過程でCO₂を排出しない電力を使用することができれば、企業の競争力の強化に繋がる。
- ・徳島県の取組としてクリーンエネルギー導入の整備ができれば、非常に強い地域の魅力となる。

○クリーンエネルギーの導入

- ・電池を作る際に発生するCO₂の削減は競争力に繋がるため、電池工場だけでなく部素材工場などサプライチェーン全体でクリーンエネルギーを使用できればありがたい。
- ・電池資源のリサイクルを促し、CO₂を削減することも重要。
- ・関西蓄電池人材育成等コンソーシアムと大学が連携することで、取組を加速させるような具体的なカリキュラムを作成したい。

○県全体への波及

- ・構想の推進にあたっては、県全体にその効果が及ぶことが重要。
- ・現在工場が集積している臨海部以外の場所にも産業立地が進むような取組を行ってほしい。

○高等教育機関との連携

- ・高等教育機関との連携として、インターンシップや共同研究の仕組み構築が挙げられているが、阿南高専生も参加できるようにしてほしい。

○企業の新規参入

- ・サプライチェーンのどの分野だと自社の技術の強みを活かせるのかという情報が少ないため、新規参入を検討しづらいのではないかと。

○バッテリー教育プログラムの追加

- ・現在使用している教材（ステップ1）に加え、さらに専門的な内容の教材（ステップ2）の作成を検討している。
- ・ステップ2の教材は、使用対象が限定されるようなものではないので、広く活用してほしい。

○リサイクル施設の集積

- ・電池資源のリサイクルに関する施策を打ち出すことで、関連施設の集積を行いやすくなる。

○学生に対する蓄電池教育

- ・ものづくりに興味を持つ学生を増やしたいと考えており、小・中学生の段階から興味をもってもらう取組を長く続けてほしい。